



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年6月11日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

シャーロック・ホームズを生んだ作家

コナン・ドイルの「秘密」

11日(日) = 1、3面

迫る



ペーカーストリート駅前に建つホームズの像

名探偵シャーロック・ホームズの活躍はみなさんご存じでしょう。助手の医師、ワトソンとの事件現場の調査や、推理を繰り広げる場面では、ページをめくる度にワクワクしたものです。

では、ホームズを生んだ作家、サー・アーサー・コナン・ドイルが不思議な話や死後の世界に興味を持っていたことは知っていましたか？ 合理的な考えで事件を解

決に導くホームズと、神秘的な事象に興味をひかれるドイル。この対比には、推理小説のような「謎」がありそうです。

ロンドン支局長が、ホームズ作品の中で屈指の人気を誇る「バスカビル家の犬」などの舞台を巡ったり、ドイル研究者にインタビューしたりしながら、世界的な推理作家の秘密に迫ります。



職場でのトラブル、どう防ぐ？

13日(火) = 総合面

特定社会保険労務士の井寄奈美さんが、職場でのトラブルや悩みを解消するために身につけておくべき知識などについて、注目を集めたニュースや判例から解説します。

初回は社会保険がテーマです。パート勤

務の30代女性は夫の扶養家族になっており、保険料負担はありませんでした。しかし加入基準が昨年変わり、勤務時間を減らすか保険に加入するか選択を迫られることに。女性が取った行動を基に対処の仕方を考えます。



特定復興再生拠点区域の避難指示解除などについて発表する杉岡誠飯館村長ら＝2023年4月15日



福島復興拠点・避難指示解除から1年

東京電力福島第1原発事故に伴う福島県内の帰還困難区域にある6町村に設定された特定復興再生拠点区域(復興拠点)の避難指示解除が始

まってしまう。1年が経過しますが、今年5月までに全解除されませんでした。6町村が掲げる「解除から5年後の居住人口の目標」を達成するに

は高いハードルがあります。先頭を切った昨年6月12日に避難指示が解除された葛尾村の状況などを記者が取材し、現状や課題を報告します。

13日(火) = 3面

特集 **ワイド**

日本維新の会、勢いが止まらない理由

12日(月) = 夕刊特集ワイド



記者会見する大阪府の吉村洋文知事

日本維新の会の勢いが止まりません。今春の統一地方選は目標議席を大幅に上回り、最近の世論調査を見ても自民党に次ぐ政党支持率です。人気を誇った橋下徹

氏、松井一郎氏という「創業者」が引退し、所属議員の不祥事も目立つのに……。次期衆院選では「野党第1党」に躍進するのでしょうか。3人の識者と考えます。

竹橋の窓はかい

編集後記



「宅配購読者無料プラン」の多彩な魅力を伝える新CMの放送を全国のテレビ、ラジオで開始しました。同プランに登録するとこれまで3月末までの期間限定で「サンデー毎日」と「週刊エコノミスト」のデジタル誌面がビューアーで読めるようになりました。CMでは、応募するともれなくAmazonギフトカード1000円分がもらえるキャンペーンも紹介しています。ご期待ください。(古谷亘)

毎日新聞